

平成 26 年度 事 業 報 告

- ・ 墨田さんさん会本部 【P. 1～4】
- ・ 墨田さんさんプラザ 【P. 5～12】
- ・ すみださんさんるーむ 【P. 13】
- ・ ワクワク工房デイサービス 【P. 14～16】
- ・ 亀沢七福福祉作業所 【P. 17～21】
- ・ 向島七福福祉作業所 【P. 22～25】
- ・ ほーむ大洋 【P. 26～27】
- ・ ほーむアンブレラ 【P. 28～29】
- ・ 相談支援センターさんさん 【P. 30～31】

社会福祉法人 墨田さんさん会

平成 26 年度 墨田さんさん会本部 事業報告

1 事業報告

平成 25 年度に立ち上げた新事業が 26 年度より動きが活発になりました。それに伴い本部として行政、不動産業者、設計業者等との連絡、調整等を行いながら進めてまいりました。また、規程の変更、理事会評議員会での承認等様々な課題を消化してまいりました。研修については別表にまとめました。

(1) 本部の役割

墨田さんさん会の各事業所が適正かつ円滑に執行できるように本部を中心に事業調整を図りました。職員の健康診断受診、採用や更新等の人事を含め、各事業所と連絡を密にとりながら行ってまいりました。

(2) 新事業の進捗状況について

①墨田さんさん会の中・長期的事業計画の展望にもとづき、平成 25 年度からスタートした新規事業のための土地探しを全力で行ってまいりました。不動産関係等の情報をフルに活用して毎日のように動きましたが、立地条件、や事業環境、利用者の利便性を考えると適当な土地がなかなか見つからず大変苦慮致しました。

このような状態の中、墨田区から、区立の厚生会館の耐震性に問題があり、そのままの事業の継続が難しいことから、墨田さんさん会の新規事業への連携の打診がありました。東京都の助成の枠が大変厳しいこともあり、区の意向を承諾しました。その後も定員 60 人規模の物件をくまなく当たりましたがなかなか見つからず、定員を 40 人規模に縮小することで当初の 100 坪から 60～70 坪までに対象を広げました。その後、27 年に入ってから横川に隣り合わせの 2 カ所の土地が見つかり、2 月に契約が整いました。

②新事業所名「空いけ未来工房」の決定

3 月 27 日の理事会・評議員会で新事業名が全員一致で承認されました。

③契約について

地番 横川四丁目 7-4 (195.53 m²) 土地契約 平成 27 年 2 月 6 日

売主 (株)リアルアステート・土地登記 平成 27 年 2 月 25 日

地番 横川四丁目 7-3 (61.68 m²) 土地契約 平成 27 年 2 月 12 日

売主 丸山 昭・土地登記 平成 27 年 3 月 23 日

設計管理契約 平成 27 年 2 月 13 日 (有)鳴海設計事務所

(3) 広報活動

墨田さんさん会の理念にもとづき、いろいろな機会を捉えて広報活動を行ってきました。ホームページの更新等により、墨田さんさん会の事業が理解していただけたことと思います。

2 理事会・評議員会について

当法人の実施事業にかかわる重要事項を審議するための理事会・評議員会は、次のとおり開催しました。今年度は理事・評議員の改選が有り、新しい理事・監事が就任されました。

①理事会

回	開催日	主な審議内容
1	5 月 26 日	25 年度事業報告・決算報告・監査報告について 議案第 1 号 平成 25 年度事業報告 議案第 2 号 平成 25 年度決算報告 議案第 3 号 平成 26 年度監査報告について 議案第 4 号 墨田さんさん会組織及び事務処理規程の変更について 議案第 5 号 理事会規定の変更について 議案第 6 号 評議員会規程の変更について 議案第 7 号 虐待防止対応規程について 報告事項 新事業の進捗状況について
2	10 月 6 日	議案第 8 号 理事・監事・評議員の改選について 議案第 9 号 新事業について 議案第 10 号 補正予算について
3	27/1 月 26 日	議案第 11 号 新事業について 議案第 12 号 補正予算について 議案第 13 号 規程の変更について
4	27/3 月 27 日	議案第 14 号 新事業の進捗状況について 新事業所の名称について 議案第 15 号 平成 27 年度事業計画案について 議案第 16 号 平成 26 年度補正予算案について 議案第 17 号 平成 27 年度予算案について

②評議員会

回	開催日	主な審議内容
1	5 月 29 日	25 年度事業報告・決算報告・監査報告について 議案第 1 号 平成 25 年度事業報告 議案第 2 号 平成 25 年度決算報告 議案第 3 号 平成 26 年度監査報告 議案第 4 号 墨田さんさん会組織及び事務処理規程の変更について 議案第 5 号 理事会規定の変更について 議案第 6 号 評議員会規程の変更について 議案第 7 号 虐待防止対応の規程について
2	10 月 6 日	議案第 8 号 理事・監事・評議員の改選について 議案第 9 号 新事業について 議案第 10 号 補正予算について
3	27/1 月 26 日	議案第 11 号 新事業について 議案第 12 号 補正予算について 議案第 13 号 規程の変更について
4	3 月 27 日	議案第 14 号 新事業の進捗状況について 新事業所の名称について 議案第 15 号 27 年度事業計画案について 議案第 16 号 26 年度補正予算について 議題第 17 号 27 年年度予算について

3 監査会の開催

平成 27 年 5 月 26 日

墨田さんさんプラザ 3 階多目的室において、2 名の監事により、平成 26 年 4 月 1 日～27 年 3 月 31 日までの業務執行状況及び財産管理、財務執行状況について、監査が行われ、全て適正に執行されていることが確認されました。

【別表】

職員の研修

26 年度は 7 月、3 月に墨田さんさん会全職員を対象とした全体研修を実施いたしました。相互交流もでき、活発な意見も聞かれました。

平成 26 度 職員研修受講記録

月	研修内容	受講数
26 年 6 月	5/29 墨田さんさん会理事会・評議員会にて承認された虐待防止対応規程について全事業所に規程を配布し、管理者から会議等で講義をして周知徹底を図った。	全事業所
26 年 7 月	①墨田さんさん会全体研修 *虐待防止とその対応 *グループ討議による事例研究 講師 小野坂施設長 ②新会計に移行するための実務研修	50 名 2 名
26 年 10 月	労働基準法一部改正のための研修	1 名
26 年 11 月	短期入所研修 社会福祉医療センター	1 名
27 年 1 月	①1/26 理事会・評議員会で権利擁護の規定の変更が承認されたので、プラザではその内容について研修する。各施設においては規程を配布。管理者が規程内容について説明する。 ②障害別研修「知的障害とは」 ③新会計基準の決算に関する研修 ④感染症の予防と対応「感染症とは」	全事業所 プラザ 1 名 1 名 1 名 プラザ 13 名
3 月	墨田さんさん会全体研修 「障害者に関わる法律をもっと知ろう」 講師 弁護士 阿部博道 障害者総合福祉法・障害者差別解消法・合理的配慮について	60 名

平成 26 年度 墨田さんさんプラザ 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

	25年度末(26.3.31)			入所		退所		26年度末(27.3.31)		
年 代	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19歳	0	0	0		1			0	1	1
20～29歳	17	8	25					13	8	21
30～39歳	10	7	17					14	7	21
40～49歳	6	2	8			1		4	1	5
50～59歳	2	2	4			1		2	3	5
60歳以上	3	2	5					3	2	5
計	38	21	59	0	1	2		36	22	58
平均年齢	32.3歳	34.3歳	33.0歳	1		2		34.3歳	35.0歳	34.6歳

(2) 障害支援区分 26.3.31 現在

障害区分	男性	女性	計
6	0	0	0
5	1	0	1
4	2	0	2
3	2	8	10
2	8	2	10
1	4	2	6
未判定	19	10	29
計	36	22	58

2 開所日数

241 日

3 支援の状況

(1) 個別支援計画の作成

個別支援計画（以下「支援計画」という）は、利用者個々の特性に応じたきめ細かな支援を行っていくための指針となるものです。支援計画はひとりひとりのニーズを反映するために利用者、保護者、施設職員の合議で作成します。短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示することによって一貫性のある的確な支援を実現するものです。この計画について、中間報告を9月末に、年間報告書を3月に利用者・保護者に報告しました。3月の報告とともに三者面談を行い、27年度個別支援計画の作成も完了することができました。

<個別支援計画作成プロセス>

時 期	事 項	
3月	①	前年度支援計画の見直し
	②	個別支援計画報告書作成
	③	利用者毎の課題と目標を設定
	④	具体的な支援内容を検討
	⑤	支援計画書担当者案作成
	⑥	担当者(案)の内容審査
	⑦	支援計画案決定
	⑧	個別面談 利用者・保護者に対する計画案の説明
	⑨	個別面談 利用者・保護者からの意見・要望聴取
	⑩	支援計画案修正
	⑪	支援計画決定
	⑫	フェイスシート作成・変更
	⑬	観察等による利用者のデータ収集・ニーズの把握
	⑭	アセスメントシート作成

(2) クラブ活動

毎月第三木曜日の午後にクラブ活動を行いました。

クラブ名	参加者数	主な活動内容
スポーツクラブ	17	外で球技・バドミントン・風船バレー等
写真クラブ	6	花や風景等の撮影・写した写真を使ったカレンダー作り
音楽クラブ	14	カラオケや楽器演奏
卓球クラブ	6	プラザ内での卓球
創作クラブ	12	ちぎり絵・絵画・ビーズ等の作成

(3) 行 事

平成 26 年度は次の行事を行いました。

4月1日	お花見	平井橋第一公園にて特製弁当を食べた	平井橋第一公園
6月25日	ボウリング	アイビーボウル様より招待	アイビーボウル
7月4日	バスハイク	大谷石と宇都宮餃子	栃木方面
8月5日	誰でもコンサート	トリフォニーホール様より招待	トリフォニーホール
10月19日	スポレク	区主催の障害者(児)スポーツ・レクリエーション大会に参加	墨田区総合体育館
10月25日	プラザまつり	第11回墨田さんさんプラザまつり開催	墨田さんさんプラザ
11月6・7日	宿泊旅行	昇仙峡と萌木の村見学	山梨方面
1月5日	新年会	法人全事業所による新年顔合わせ会	曳舟文化センター
2月11～17日	まち処企画展	すみだまち処にて共同販売店	すみだまち処

(4) 健康管理

事業所として利用者の健康状態の把握と利用者の自己管理を促すことの両面から、次のことを行いました。また平成 20 年度より、体調管理の指針となるように、毎月実施している体重測定の結果をグラフにして配布しています。

方法	実 施 サイクル	内 容
日常の健康 チェック	毎日	①入退所時や施設内での活動時における身体状況等の観察 ②体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月1回	①月初に測定し、毎月の体重変化を把握し健康管理について助言する
嘱託医による 健康相談	月1回	①毎月第2木曜日に嘱託医が来所し、利用者の健康相談や健康講話を行う
定期健康診断	7月9日 7月23日	①医療機関において胸部X線、尿、血液、血圧、内診、心電図等の検査を行う

(5) 安全管理

施設内はもとより通所途中の事故防止等についても、利用者に対し折にふれて注意を喚起するとともに、希望者には位置検索機の貸し出しを行ない、通所途中の安全確認と異常時の対応を迅速かつ適切に行ってきました。また火災や大地震の発生に備え、6月17日と12月2日に避難訓練を実施しました。

(6) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労希望者には就労に向けた訓練を実施し、求人に関する情報提供をするとともに、就労支援センターと連携を行います。今年度は希望者が企業見学に参加しましたが、企業就職者を出すには至りませんでした。

(7) 利用者自治会

親睦を目的とした利用者の会“プラザの会”があります。選挙により選出された役員が中心となり、会費の運用や行事での企画等に活躍しました。職員は利用者の自主性を重視し、サポートする立場で支援しました。

4 授産事業の状況

(1) 総収益 30,595,677 円 前年度比 109%
月平均 43,545 円

(2) 部門別収益内訳

	受注	公園清掃	点字名刺等	パン	クッキー
年計	6,373,499	1,994,447	293,738	3,942,500	2,592,627
月平均	531,124	166,203	24,478	328,541	216,052
前年度比	106%	90%	168%	91%	103%
	喫茶	清掃	緑化	リサイクル	
年計	837,494	11,373,960	1,969,920	1,217,492	
月平均	69,841	947,830	164,160	101,457	
前年比	98%	128%	105%	101%	

(3) 工賃支払総額 30,595,677 円
支払月平均 43,545 円 前年度比 2,674,673 円増

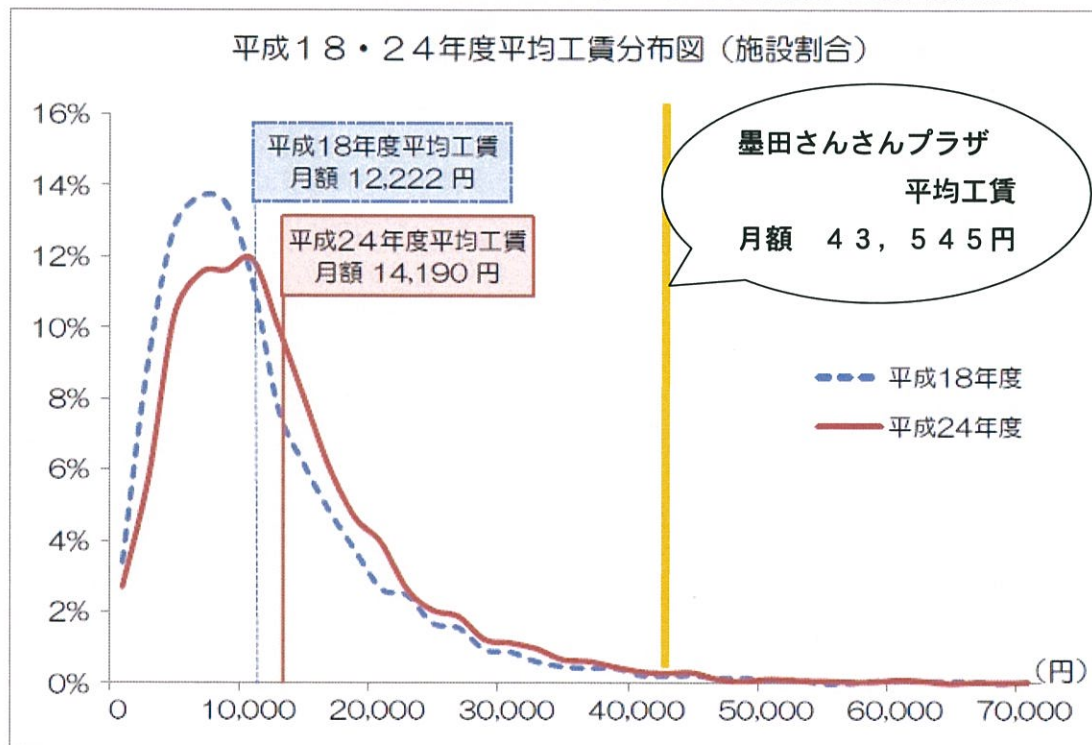
◎ 全国授産施設等における工賃支給額との対比

(厚生労働省ホームページより)

平成24年度平均工賃分布図(工賃倍増5か年計画対象施設)

平成18・24年度平均工賃分布図(就労継続支援B型事業所)

(※)平成18年度は就労継続支援B型事業所、授産施設、小規模通所授産施設



5 職員の任免

	施設長	事務			生活支援員兼作業指導員			嘱託医	計
	常勤	常勤	非常勤	臨時	常勤	非常勤	臨時	非常勤	
25年度末	1 26.3.31	1	0	0	6	1	18	1	28
		1			25				
退職	0	0	0	0	0	0	4	0	4
		0			4				
採用	0	0	0	0	0	0	4	0	4
		0			4				
異動	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		0			1				
昇格	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		0			1				
26年度末	1 27.3.31	1	0	0	6	2	16	1	27
		1			24				

6 職員の研修

実施月	研 修 内 容	参加者数
5月	虐待防止対応規程について	全職員
6月	権利擁護規程について	全職員
7月	虐待防止とその対応 新会計に移行するための実務研修	法人全職員 2
10月	労働基準法に関する基礎研究会 権利擁護規定変更のための研修	1 法人全職員
11月	短期入所研修	1
1月	新会計基準の決算に関する研修 全三回 障害別研修「知的障害とは」 感染症の予防と対応	1 1 法人全職員
3月	利用者に関わる法律をもっと知ろう	法人全職員

7 地域交流等

墨田さんさんプラザの特色であるパン・クッキーの製造・販売や喫茶コーナー、公園緑化活動や花苗配布の事業活動は、実質的かつ日常的な地域交流として大きな成果を上げています。特に花苗配布は地域に定着し緑化活動と合わせ地域に愛される存在になりました。地域交流行事の目玉である「さんさんプラザまつり」は、第 11 回として行われ、盛況に開催できました。

8 福祉サービス第三者評価の受審

(1) 評価機関

評価機関 NPO法人 福祉経営ネットワーク
住 所 千代田区九段南 3-4-5 番町ビル 7A

(2) 評価の手法と内容

27 年度の福祉サービス第三者評価は「利用者調査」と「組織マネジメント」、「サービス分析」を実施しました。

(3) 評価結果

全体の講評

利用者の総合的な感想では「大変満足」が 24 名、「満足」が 25 名と 8 割以上の利用者が満足しています。去年に比べ 1 割も満足している利用者が増えていることは、サービスの充実の結果として大きく評価できるものと考えられます。また、主任を 3 人体制にしたことで、組織体制の向上と利用者支援の強化が図られました。個別支援計画の目標に基づき、個々の利用者の能力を引き出す支援を行い、成果につなげているとの評価を得ました。さらなる改善が望まれる点として、個別支援計画書に沿った具体的な支援内容がわかりやすいケース記録に、との指摘を受けたので、こうしたことを考慮し、次年度重点課題として取り組んでいきます。

9 本年度の重点課題について

(1) 新規授産事業の取り組み

①施設清掃事業

墨田区から受託している「すみだ障害者就労支援総合センター」「おおぞら」の施設内及び周辺の清掃を行い、臨機応変に対応し利用者支援・育成と職員配置を行いました。

②緑化事業

公園花壇等の管理として「平井橋第一公園」「すみだ障害者就労支援総合センター」に季節に合わせた草花を植えました。また、墨田さんさんプラザの屋上にて花苗を育て、地域交流の一環として配布・墨田区への納品をしました。水耕栽培は、収穫した野菜を喫茶でサラダとして提供、スカイワゴンで販売し、収穫した野菜を使った新メニューの「スムージー」の開発・販売を行いました。

③自主生産品

スカイワゴンでの販売をはじめ、各所でのパン・クッキー販売が浸透しました。パンは約 50 種類、クッキーは約 20 種類と年々種類を増やしています。

④職員研修の充実

作業の多様化から専門的な知識を求められることも多々あるため、各職員が様々な分野の研修に参加し、研鑽を積みました。

(2) 利用者支援の充実

①支援マニュアルを整備

状況や障害の特性に応じた支援マニュアルを作成するとともに、ヒヤリハットを整備し、利用者への支援の充実と全職員で統一した支援方法を実行できるよう検討しました。

②安全管理の徹底

利用者本人達の自主性を尊重し、休み時間等は本人主体の時間として見守るとともに、トラブルに対しては迅速に対応しました。

③本人会活動の支援

本人参加の場を提供するとともに、本人たちでは難しい判断のときにはアドバイスをしました。旅行等の行事での本人会主催の企画の支援を行いました。

(3) 啓発事業の取り組み

①自主生産に従事する利用者の専門性の育成

パンに従事している利用者の早出を定着させるとともに、より専門的な技術を身につけられるように支援をしました。クッキーも職員を増員し、利用者を定着させることで以前よりも高い技術を習得することができました。

②喫茶での他事業所自主生産品セット販売

墨田さんさん会の自主生産品のアピールも兼ねて亀沢七福福祉作業所のチョコレートケーキとワクワク工房デイサービスのパウンドケーキを喫茶で飲み物とのセット販売を行いました。

③ソラマチ企画展

2月末から6日間にわたり、スカイツリータウンソラマチ5階まち処において「障害者自主生産品共同販売展」を開催しました。昨年度の反省を活かし、レイアウト等に工夫を重ねた結果、関係者より好評を得ました。売り上げ的には昨年度を下回りましたが、墨田区の障害者自主生産品を全国からスカイツリーに訪れたお客様にアピールすることができました。

平成 26 年度 すみださんさんるーむ 事業報告

これまでと同様に、緊急性を考慮しつつ、利用希望者の期待にこたえられるよう積極的な取り組みを行ってまいりました。

学齢児の日中利用の増加は昨年同様の傾向で、学校の休校時に多くの利用傾向がみられました。また、重度障害児・者の利用希望や他区からの利用希望も増加傾向にあり、併せて新規利用者も増え、本事業の必要性や重要性を実感しながら事業運営を行う 1 年間となりました。

こうした状況も踏まえ、できる限りの受け入れに努力を図ってまいりました。近年、努めてまいりました定員に近い利用者を同時期に受け入れる等、効率的な事業運営を図っていく努力も行ってきた結果、利用の拡大や財政面での事業運営も正常な傾向が見られるようになり、安定の域に達したところです。

いずれにしても、必要な人に必要なサービスが受けられる態勢作りを行い、緊急性を配慮した事業運営を目指してまいりました。

なお、消防法の改正により、来年度から 3 年間の経過措置が設けられているものの、法に適応する施設整備の必要性が求められています。

1 利用実績

短期入所			
月	利用人数	延べ利用日数	
4	19	29 泊	57 日
5	18	25 泊	49 日
6	14	19 泊	38 日
7	20	25 泊	50 日
8	12	18 泊	35 日
9	15	22 泊	44 日
10	17	21 泊	41 日
11	20	24 泊	48 日
12	18	24 泊	47 日
1	13	18 泊	35 日
2	14	22 泊	44 日
3	19	23 泊	45 日
計	199	267 泊	533 日
月平均	16.6	22.3 泊	44.4 日

日中一時		
月	利用人数	延べ利用日数
4	16	58
5	19	56
6	20	57
7	21	62
8	22	69
9	17	56
10	20	55
11	19	64
12	18	53
1	20	49
2	21	48
3	20	50
計	233	677
月平均	19.4	56.4

2 職員体制（平成 26 年 3 月 31 日現在）

管理者 (兼務)	支援スタッフ			計
	常勤	非常勤職員	臨時職員	
1	1	1	3	6

平成26年度 ワクワク工房デイサービス事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

	25年度末(2014/3/31)			入所		退所		26年度末(2015/3/31)		
年代	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～29										
30～39	1	3	4				1		2	2
40～49	2	2	4					1	2	3
50～59	2	3	5			1		3	3	6
60～		5	5	1	1			1	6	7
計	5	13	18	1	1	1	1	5	13	18
平均年齢	46.6	51.5	50.1					55	54	51

(2) 利用者数・利用日数

	25年度末(26. 3. 31)			入所		退所		26年度末(27. 3. 31)		
週	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
5日	2	7	9	1	1		1	3	9	12
4日	1	1	2							
3日	0	1	1							
2日	0	3	3							
1日	1		1			1		2	4	6
計	4	12	16					5	13	18

(3) 月間利用回数3回以下の利用者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
0	1	1	1	2	2	3	2	3	4	4	2	25	20.8
25年度												28	2.33

(4) 障害支援区分 (27. 3. 31現在)

区分	男性	女性	計	家庭		生活寮		計
				区内	区外	区内	区外	
2	2	4	6					
3	2	7	9					
4	0	1	1					
5	1	1	2					
6	0	0	0					
計	5	13	18					

	家庭		生活寮		計
	区内	区外	区内	区外	
男性	3	0	2	0	5
女性	9	0	3	1	13
計	12	0	5	1	18

2 開所日数 241日

3 利用実績 平成26年度(3. 31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
稼働日数	21	20	21	22	18	20	22	18	19	19	19	22	241	20.1
登録者数	16	16	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	208	17.3
出席者数	258	228	254	258	207	227	249	207	232	220	222	278	2840	236.7
1日平均	12.3	11.4	12.1	11.7	11.5	11.4	11.3	11.5	12.2	11.6	11.7	12.6	141.3	11.8
新規契約			1				1						2	
退 所												2	2	

4 支援の状況

あらゆる活動を通して、利用者が社会参加と自立を図れるよう、また、ともに生きがいを高められるよう支援をしてまいりました。所外レクリエーションや誕生日会等、できる限り新しい経験が出来るような企画とし実施しました。併せて、四季折々の文化に親しみ、利用者が楽しめる行事を心掛けました。

26年度は、転居等の理由により2名の利用者が退所されました。また、新規に2名が入所され、2人とも毎日の利用で、賑やかで楽しい雰囲気の中、和気あいあいと過ごしています。

(1) 行事

平成26年度は次の行事を実施しました。

4月	1日お花見(白鬚東公園) 14日保護者連絡会 28日誕生日会(リヨン)
5月	19日火災避難訓練 26日食事会(バーミヤン)
6月	6日所外レクリエーション(茨城・大洗方面) 11日すみだ水族館見学(オリックス財団招待) 23日ボウリング大会・誕生日会(和食さと)
7月	28日誕生日会(しゃぶ田)
8月	13日～15日夏期休暇 21日健康診断 25日誕生日会(坂むら)
9月	29日地震避難訓練・誕生日会(和食さと)
10月	19日障害者スポーツレクリエーション大会 27日誕生日会(バーミヤン)
11月	17日食事会(リヨン) 27～28日 宿泊旅行(愛知県三河方面)
12月	7日すみだスマイル♡フェスティバル 24日保護者連絡会・誕生日会(リヨン)
12月	29～31日年末休暇
1月	1日～4日年始休暇 5日新年顔合わせ会 26日誕生日会(和食さと)
2月	11～17日すみだまち処共同展(14・17刺し子実演) 25日誕生日会(デニーズ)
3月	6日親子所外レクリエーション(山梨方面) 30日誕生日会(しゃぶ田)

(2) 参加行事

スポーツレクリエーション大会 すみだスマイル♡フェスティバル 新年顔合わせ会
すみだまち処共同展実演

(3) 調理支援

毎週水曜日に調理実習を実施しました。

(4) 健康管理

・検温（毎日）・体重測定（週1回）・血圧測定（週1回）・健康診断（年1回）

(5) 安全管理

年に2回、避難訓練を実施しました。

(6) 新聞発行

月に1回、デイサービス通信を発行しました。

5 重点課題に対する取り組み

① 生活介護

- (1) 個別支援計画に基づいて、年齢や季節にあった服装の助言や買い物の支援をしました。
- (2) ひとりでも多く行事に楽しく参加できるように、利用者のコミュニケーション作りに心掛けました。

② 社会交流

- (1) パウンドケーキや刺し子の販売は地域の人だけでなく、様々な行事に参加し、販売経路の拡大を図りました。
パウンドケーキは老人会のイベントに、刺し子はお店の開店祝いにとご注文頂き、お礼の手紙を頂戴する程に上達しました。

③ 健康維持

- (1) 万歩計を導入し、「徒歩でゆく東海道五十三次」を実施しました。
楽しく歩くをモットーに26年度は、箱根に到着しました。
- (2) 毎日の検温や週1回の体重・血圧測定により利用者の健康維持の意識が高まりました。
- (3) 緊急時に役立つよう利用者の救急情報シートを作成しました。

平成 26 年度 亀沢七福福祉作業所 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数および年齢分布 (27.3.31 現在)

男性 10 名 女性 8 名 合計 18 名

年齢分布

年代	25 年度末(26.3.31)			入所		退所		26 年度末(27.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19 歳	0	0	0					0	0	0
20～29 歳	1	0	1					1	0	1
30～39 歳	4	1	5					4	1	5
40～49 歳	4	3	7			1		3	2	5
50～59 歳	1	2	3					1	3	4
60 歳～	1	2	3					1	2	3
計	11	8	19			1		10	8	18
平均年齢	40.9	50.3	44.8					42.0	51.3	46.1

(2) 障害分布 (27.3.31 現在)

愛の手帳

	男性	女性	計
1 度			
2 度	2		2
3 度	2	3	5
4 度	6	5	11
計	10	8	18

障害支援区分

	男性	女性	計
区分 1			
区分 2	5	5	10
区分 3	2		2
区分 4			
区分 5			
区分 6			
未判定	3	3	6
計	10	8	18

2 営業日数および延べ利用者数

(1) 営業日数：241 日

(2) 延べ利用者数：4,042 人

3 支援状況

生産活動等を通し、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、その知識と能力の向上に必要な福祉サービスの提供に努めました。また、緑化事業や公園清掃等の屋外活動を通して、地域に対する障害者理解のための啓発へとつながるよう努めました。

移転から2年目となり、利用者も落ち着きを取り戻した様子が見受けられ、安定した日中活動を行うことができました。

年度半ばに、男性利用者が半身麻痺になり通所困難になりましたが、退所に至るまでその状況把握に努めました。そして医師や家庭と連携を取るなどし、再び通所できるよう支援しました。

利用者支援にあたっては、「社会福祉法人墨田さんさん会亀沢七福福祉作業所運営規程」に基づき、個別支援計画を中心とした利用者の処遇に万全を期すべく努めました。

(1) 行事

平成26年度は以下の行事を行いました。

4月18日	バスハイク	埼玉方面 醤油しぼり他	利用者 19名 職員 6名
6月17日	ボウリング大会	アイビーボウル向島様より招待	利用者 17名 職員 6名
10月19日	スポレク	区主催 障害者(児)スポーツレクリエーション大会に参加	利用者 17名 職員 4名
11月13日 14日	宿泊旅行	山梨・静岡方面 富士山五合目散策 ペンション富士リゾート 宿泊	利用者 15名 職員 5名
12月7日	スマイルフェスティバル	区主催 ノーマライゼーション推進 啓発事業 業務受託	利用者 16名 職員 5名
12月24日	新日本フィル 出張コンサート	新日本フィル トロンボーン奏者による出張コンサート(於プラザ)鑑賞	利用者 17名 職員 5名
12月26日	利用者忘年会	当所食堂にて食事会 にじの会主催 ビンゴ・カラオケ等	利用者 17名 職員 6名
1月5日	新年顔合せ会	墨田さんさん会主催 曳舟文化センター	利用者 14名 職員 5名

(2) 余暇活動

上記レクリエーション行事の他に毎月第3火曜日の午後を余暇活動とし、利用者の希望や意見を反映させながら趣味やスポーツ活動を中心に実施しました。

(3) 健康管理の取組み

施設としての利用者の健康状態の把握と、利用者による自己管理の両面から、次のことを行っています。

方 法	実施サイクル	
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対し、迅速な対応を行いました。
体重測定	月1回	グラフ化し利用者への助言、家庭へ測定記録の配布をしました。
定期健康診断	10月29日	本所保健センターにて胸部 X 線・尿・血液・血圧・内診等の検査を行いました。

(4) 安全管理

施設内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくとともに、野外行事における職員体制の強化を図りました。

また、火災や大地震の発生に備え、5月21日・9月25日に避難訓練を実施しました。

(5) 就労支援

作業所では利用者支援のひとつのゴールとして、就労支援に取り組んでいます。就労支援センターと連携し、就労に向けた取り組みを行ってきましたが、企業就職へは、至りませんでした。

また、法人においても3事業所が協働している食品トレーの選別について、リサイクルストックヤードでの出退勤や工賃の時給制等、より一般就労に近い労働形態となるような環境整備に努めました。

(6) 食事支援

毎週2回、職員の調理による給食を実施しました。通常の仕出し弁当とは違い、温かみや家庭的雰囲気のある食事を提供することで、利用者や保護者から好評を得ています。

4 工賃推移

平成 26 年度の工賃支払額は以下のとおりです。

※ () 内は一人当たり平均工賃月額

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
520,482 円 (27,394 円)	457,349 円 (24,071 円)	525,343 円 (27,650 円)	545,484 円 (28,710 円)	505,397 円 (28,078 円)	544,096 円 (32,006 円)

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
627,557 円 (36,915 円)	454,244 円 (26,720 円)	499,017 円 (29,354 円)	384,568 円 (24,036 円)	531,916 円 (33,245 円)	516,706 円 (30,394 円)

26 年度工賃支払総額 6,112,159 円 (前年度比 642,882 円増)

一人当たり平均工賃 28,968 円 (前年度比 4,874 円増)

25 年度全国平均工賃 14,437 円 (※注)

※注 対象：就労継続支援 B 型事業所 (8,589 施設)

(「平成 25 年度工賃 (賃金) 月額の実績について」 厚労省 HP より)

5 重点課題への取り組み

(1) 地域社会への啓発活動

当所を取り巻く地域社会に向け啓発活動の一環として、自主生産品のチョコレートケーキを墨田さんさんプラザの喫茶コーナーや、区内のイベント等において販売するなど、自主生産品の販売を通して地域に所の存在のアピールに努めました。また、新製品の開発にも努めました。

錦糸公園清掃や地域緑化推進事業では既に認知されており、区民の方から気軽にお声を掛けていただけています。また、都立高校の福祉施設体験で学生を受け入れることで、作業所を地域における社会資源として活用していただきました。

(2) 本人会活動の充実

にじの会 (本人会名称) においては、主催する行事の企画や準備について、会長をはじめとする役員を中心に自主的に運営ができる環境の整備を図りました。その中で職員の役割としては、見守りや必要に応じて助言する等、利用者を主体としサポートに徹しました。これにより、自主性の育成や個人の尊重に努めました。

（３）職員研修への参加

研修については、墨田さんさん会本部により２回にわたり開催された全体研修（虐待・権利擁護）へ全職員が参加をしました。また、職員会議を利用して施設長を中心に勉強会を度々実施するなど、支援員としてより良い福祉サービスを提供できるよう知識や技術の向上を図りました。

平成 26 年度 向島七福福祉作業所 事業報告

1 利用者の状況

(1) 利用者数・年齢分布

男性 10 名 女性 9 名 合計 19 名
年齢分布

年 代	25 年度末 (26.3.31)			入 所		退 所		26 年度末 (27.3.31)		
	男性	女性	計	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
18～19 歳	0	0	0					0	0	0
20～29 歳	0	0	0					0	0	0
30～39 歳	2	0	2					1	0	1
40～49 歳	2	4	6					3	4	7
50～59 歳	4	2	6					4	2	6
60 歳～	2	3	5					2	3	5
計	10	9	19					10	9	19
平均年齢	50.2	51.4	50.8	0		0		51.4	52.8	52.1

(2) 障害内容 (27. 3. 31 現在)

愛の手帳	男性	女性	計
1 度	0	0	0
2 度	0	1	1
3 度	4	3	7
4 度	6	5	11
計	10	9	19

(このうち、身障手帳 3 級が 1 名)

(3) 障害支援区分

障害区分	男性	女性	計
2	4	5	9
3	3	1	4
4	1		1
未判定	2	3	5
計	10	9	19

2 開所日数

241 日

3 支援状況

就労継続支援 B 型事業所として、ひとりひとりのニーズを反映するため、利用者、保護者、施設職員で個別面談を行い、利用者や保護者(世話人)などの希望を伺いました。それをもとに施設内外での日常生活を通して、社会人として必要な知識や能力を向上させていく事ができるよう、利用者本位の支援体制のもと福祉サービスの質の向上を目指しました。

また、全職員がケース会議や職員会議などで共通認識を持ち、知的障害者のニーズに柔軟に対応し、安定したサービスの提供ができるよう努めました。

(1) 行事

平成 26 年度は次の行事を実施しました。

6 月 20 日	バスハイク	ガトーフェスタハラダ工場見学 サクランボ狩り(果実庭)	群馬方面
6 月 27 日	ボウリング大会	アイビーボウル向島よりご招待	アイビーボウル向島
10 月 19 日	スポーツ・レクリエーション大会	区主催 障がい者(児)スポーツレクリエーション大会に参加	墨田区総合体育館
11 月 13 日 ～14 日	宿泊旅行	シャトレーゼ見学、リンゴ狩り、善光寺参拝 (かんばの宿諏訪)	長野方面
12 月 7 日	すみだスマイルフェスティバル	区主催	曳舟文化センター
12 月 26 日	お楽しみ会	食事会・ビンゴゲーム	曳舟文化センター
1 月 5 日	新年顔合わせ会	法人全事業所による顔合わせ食事会	曳舟文化センター
3 月 13 日	所外活動	新日本フィルコンサート鑑賞	すみだワクワク工房

(2) 余暇活動

平成 26 年度は次の余暇活動を実施しました。

4 月 22 日	フルーツサンド作り	利用者が食材をもらい、生クリームは協力して泡立て、各自フルーツサンドを作り、試食する。	利用者 18 名 職員 5 名
5 月 9 日	DVD 鑑賞	利用者の希望により、相棒の DVD を食堂にて鑑賞する。	利用者 19 名 職員 5 名
7 月 29 日	非常食作り	非常食の炊き込みご飯を利用者と作り、各自で作ったおにぎりを昼食として食べる。	利用者 18 名 職員 5 名
8 月 29 日	ビデオ・DVD 鑑賞	バスハイクのビデオとアナと雪の女王の DVD を食堂にて鑑賞	利用者 17 名 職員 4 名
9 月 1 日	DVD 鑑賞	先月のアナと雪の女王の途中になっていた DVD 鑑賞	利用者 17 名 職員 3 名
11 月 27 日	ダンス練習	妖怪ウォッチの音楽をかけて、新年顔合わせ会の時に披露するダンスの練習をする。	利用者 18 名 職員 4 名
12 月 24 日	ダンス練習	広い場所を作り、配置を決め、新年会に向けダンスの練習をする。	利用者 17 名 職員 5 名
1 月 30 日	DVD 鑑賞	利用者の希望により、となりのトトロの DVD を食堂にて鑑賞する。	利用者 16 名 職員 5 名
2 月 4 日	卓球とコーヒーゼリー作り	作業室で卓球をし、その後みんなでコーヒーゼリーを作り、デザートで試食する。	利用者 17 名 職員 4 名
3 月 31 日	茶話会	お菓子とお茶を飲みながら、異動となる職員に一人ひとり利用者が挨拶をした。	利用者 17 名 職員 6 名

(3) 健康管理の取り組み

施設として利用者の健康状態の把握と利用者の自己管理の両面から、次のことを行っています。

方 法	実施サイクル	内 容
日常の健康チェック	毎日	体調の変化等に対する迅速な対応
体重測定	月 1 回	毎月の体重変化を把握し、健康管理について助言する
定期健康診断	10 月 29 日	本所保健センターにおいて胸部X線・尿・血液・血圧・内診・心電図等の検査を行いました

(4) 安全管理

事業所内及び通所途中の事故防止について、普段から作業所の生活の中で注意を喚起していくとともに、野外行事における職員体制の強化を図りました。また、火災や大地震の発生に備え、緊急時の心構えや行動の要領を身に付け、利用者を迅速かつ安全に避難させる行動要領を習得するため、年 2 回の避難訓練を実施しました。

避難訓練実施日 平成 26 年 5 月 20 日・11 月 21 日

(5) 就労支援

作業所では利用者支援の一つのゴールとして、就労支援に取り組んでいますが、年齢的な事もあり、今年度も就労を希望する利用者はいませんでした。

(6) 食事支援

今年度 8 月より、長年とってきた仕出し弁当業者を変更しました。また毎週 2 回、職員の調理による給食も実施しました。通常の仕出し弁当では感じることのできない温かみや家庭的雰囲気の食事を提供することで、利用者はとても楽しみにしており、好評を得ています。

4 工賃推移

前年実績より少し減少したものの、平成 26 年度の利用者工賃の毎月平均と総額は以下の通りです。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
¥626,620 (¥32,980)	¥588,072 (¥30,951)	¥524,961 (¥27,630)	¥701,781 (¥36,936)	¥556,053 (¥29,266)	¥585,105 (¥30,795)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
¥637,401 (¥33,547)	¥568,838 (¥29,939)	¥520,951 (¥27,418)	¥483,367 (¥25,440)	¥577,212 (¥30,380)	¥638,501 (¥33,605)

()内は一人平均

26 年度工賃支払総額 7,008,862 円
一人平均 30,741 円

5 重点課題への取り組み

① 職員による利用者支援の向上

作業所内に意見箱を設置し、周知しましたが、利用はありませんでした。余暇活動や行事の時に、やって欲しいことなど希望を利用者全員に問いかけ、可能な範囲で希望が叶うよう努めました。個々の相談にも対応し、支援向上に努めました。

② 利用者が工賃等の支払いについて理解しやすい情報提供

3 か月毎の工賃査定での評価基準や評価比率などをみんなが確認できるよう掲示し、どういう点を評価しているか説明し、利用者が理解できるよう取り組みました。

③ 本人会の充実

発足して間もない為、職員がサポートしながら、行事等で利用者の意見が反映されるよう支援しました。

④ 職員会議の充実

利用者の問題ケースがあった時など、共通認識を持てるよう、統一した支援ができるよう職員会議にて話し合いました。

⑤ 個別支援計画の策定

利用者・保護者(世話人)との面談により、それぞれの要望を伺い、目標・課題を確認し、要望が反映されるよう 27 年度からの個別支援計画を作成しました。

⑥ ケース記録の充実

個別支援計画に則り、利用者への支援状況や健康状態などを記録し、ケース記録の充実を図りました。

平成 26 年度 ほーむ大洋 事業報告

平成 21 年 4 月に開設し、6 年間無事に過ごすことができました。

共同生活援助施設として、7 名の方々がお互い生活習慣や対人関係を大切にしながら安定した共同生活を過ごしています。

穏やかで家庭的な雰囲気作りと入居者一人ひとりを大切にできる環境整備を目指して 1 年間努力してきました。こうした中で、入居者の方々も生活基盤ができ、落ち着いてきました。

今後も安心して暮らせるような環境作りと職員体制の強化、健康管理や安全管理に留意して、虐待や人権侵害のない開かれた施設作りを進めます。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
30代	2		2
40代	1	1	2
60代	1	2	3
計	4	3	7

② 障害支援区分

区分	男	女	計
1		1	1
2	1	1	2
3	2	1	3
5	1		1
計	4	3	7

③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	1	1	3
福祉作業所	1	2	3
デイサービス	2		1
計	4	3	7

2 職員体制

	管理者（兼務）	常 勤	非常勤
管理者 サービス管理者	1（兼）		
世話人		1	4
生活支援員			2

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。また、一人ひとりのニーズを反映するために入居者、保護者、関係機関の職員とは一む職員の合意のもとに作成しています。

これにもとづき、短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行事

誕生会	4月・5月・8月・1月	アイビーボール・ピックエコー デニーズ・カタクラ
日帰り旅行	5月	多摩動物園
花火大会	7月	大洋屋上
クリスマス会	12月	大洋食堂
宿泊体験	11月22日・23日	伊豆蓮台寺

③ 健康管理

朝食や夕食時に入居者一人ひとりの健康状態を把握し、日中活動への参加を支援すると共に、疾病時には病院に付き添い薬の飲み忘れのないよう、声掛け等の支援をし、健康管理の維持に努めてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努めました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が毎日健康で日中活動が維持できるよう、施設や現場との連携を図り、生活状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

区・各作業所をはじめ、親の会・町会等主催の行事への参加希望者には、職員が一緒に同行しました。また、近隣の行楽地や宿泊体験を計画し、外出する機会を増やし、思い出作りや余暇活動の充実を図るとともに、季節感を味わえるようゆず湯を実施し、好評でした。

今後も、引き続き利用者の皆さんに楽しんでもらえるよう努めてまいります。

平成 26 年度 ほーむアンブレラ 事業報告

平成 22 年 2 月に開設し、5 年間を無事に過ごすことができました。

共同生活援助の施設として、開設と同時に 14 名の方々を迎え、心を込めた朝夕の食事提供、リラックスして一日が終われるよう毎日の入浴準備、個々の相談にも十分に対応し、安心して暮らせるような環境づくりを心掛けてきました。入居者の皆さんも生活習慣や対人関係を大切にしながら、安定した共同生活を過ごしています。

今後も職員体制を強化し、安全管理や健康管理に留意して、虐待や人権侵害のない開かれた施設づくりを進めます。

1 入居者の状況

① 入居者数・年齢分布

年代	男	女	計
20代	2		2
30代	1	1	2
40代	4	1	5
50代	2	1	4
60代	2		1
計	11	3	14

② 障害支援区分

区分	男	女	計
1	4		4
2	3	1	4
3	2	1	3
4			
5			
6	2	1	3
計	11	3	14

③ 日中活動

	男	女	計
一般企業	2		3
福祉作業所	6	1	6
ワクワク	1	1	2
ひだまり	1	1	2
はばたき	1		1
計	11	3	14

2 職員体制

	管理者（兼務）	常 勤	非常勤
管理者 サービス管理者	1（兼）		
世話人		1	4
生活支援員			2

3 支援状況

① 個別支援計画の作成

個別支援計画は、入居者の個々の特性に応じたきめ細やかな支援を行っていくための指針となるものです。個別支援計画は一人ひとりのニーズに反映するために、入居者、保護者、関係機関の職員、ほむ職員との合議のもとに作成しました。これにもとづき、短期・長期目標や支援の方向性を具体的に明示し、目標実現を図ってまいりました。

② 行事

暑気払い	8月	アンブレラ食堂
忘年会	12月	
誕生会	4・7・8・10月	
	12月・1月・3月	
所外レク	6月	千葉房総
少グループレク	6月	日帰りお台場・フジテレビ
少グループ宿泊	1月31日・2月1日	鬼怒川・ホテル三日月
少グループ宿泊	2月14・15日	

③ 健康管理

朝食時や夕食時や帰寮の際に、入居者一人ひとりの健康状態を把握し、活動への参加を支援するとともに、疾病時には病院に付き添い、薬の飲み忘れのないよう、声掛け等の支援をし、健康管理の維持につとめてまいりました。

④ 安全管理

個々の障害を理解し、安全で快適な住居の環境整備に努め、火災や大地震の発生に備え、6月と12月に避難訓練を実施しました。

⑤ 日中活動への支援

入居者が、毎日健康で日中活動の維持・継続できるよう、施設や職場との連携を図り、生活の状況等の相互関係に努めました。

⑥ 行事参加への支援

今年度は、全員で日帰りのバスハイクをはじめ、利用者の皆さんの希望でグループに分かれて宿泊を実施しました。実施時期が冬で積もった雪を見ることができ、大変好評でした。

今後も、行事を企画し、実施できるよう努めてまいります。

平成 26 年度 相談支援センターさんさん 事業報告

26 年度は亀沢七福、向島七福、グループホーム等の法人各施設の計画相談および墨田さんさんプラザのモニタリングを実施しました。利用者本人や保護者の要望や意向を十分に聴きそれが反映できる計画ができるように努力を致しました。

また、モニタリングを行うことで、計画がしっかり行えているか確認を行いました。

1 契約者数

125 名

(墨田さんさんプラザ：59 名 亀沢七福福祉作業所：19 名 向島七福福祉作業所：18 名 ワクワク工房デイサービス：15 名 ほーむ：11 名 その他：3 名)

2 利用実績

所属・相談種別件数

所 属	計 画	モニタリング	計画+モニタリング
墨田さんさんプラザ	11	7	45
亀沢七福	12	1	0
向島七福	12	3	1
ワクワク工房デイサービス	12	2	1
ほーむアンブレラ・大洋	5	1	0
その他※	4	1	0
合 計	56	15	47

* 企業等

3 契約者地域別数

墨田区：119 名

台東区： 1 名

江東区： 2 名

葛飾区： 1 名

江戸川区：1 名

福島県富岡町：1 名

26 年度の計画に沿った事業展開ができました。また、モニタリング等、需要が多くなり、行政との連絡を密に取り、スムーズに行うことができました。

27 年 4 月から特別支援学校を卒業の通所予定者が 3 人有り、そのうちの一人が福島県での被災者であることなどから現地の行政と連絡を密にとりながら契約を行いました。又、企業に勤務されている方が短期入所等の福祉サービス等を希望され契約を行う等の事例が有りました。

4 職員体制（平成 27 年 3 月 31 日現在）

管理者(兼務)	相談支援専門員(兼務)	計
1	1	2